令和5年度山口県芸術文化振興奨励賞

略歴・業績

2000年　独学で作品制作を始める
2005年　東京での活動期間を経て拠点を山口に移す
2006年　山口県美術展覧会　佳作
2009年　神戸ビエンナーレ アーティスティックフォトコンペティション　銅賞
　　　　まど・みちお詩集「のぼりくだりの…」（理論社）挿絵
2011年　山口県美術展覧会　佳作
2012年　第4回やまぐち新進アーティスト大賞　大賞
　　　　詩選集「やさしいけしき」「草にすわる」（各理論社）　挿絵
2016年　第70回山口県美術展覧会　大賞
2017年　mon Sakata（東京）テキスタイルデザイン原画制作
2018年　企画展「コレクション展」参加（museum as it is/千葉）
2021年　やまぐちプレミアム共通商品券　作品提供
　　　　滞在制作（beppu project/大分）
　　　　滞在制作（長島愛生園/岡山）
2022年　第28回エネルギア美術賞を受賞

美術／絵画

保手濱 拓

Hotehama Taku

山口市

今後の抱負

　この度は山口県芸術文化振興奨励賞を賜り、誠にありがとうございます。

　家族や友人をはじめ本当にたくさんの方々に応援していただいて作家活動が続けて来られたと感じております。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

　二十余年となる制作活動の中では、自分自身の目で、心で表現の対象と向き合うことを大切に遅々とした歩みで活動して参りました。

　十年程前からは滞在制作を行う機会が重なり、山口県内では大津島や秋吉台国際芸術村、県外においては福岡県うきは市や大分県別府市、岡山県瀬戸内市、北海道など様々な土地での中・長期の滞在制作及びそれに伴う個展を開催して参りました。たくさんの人との出会いやご縁に恵まれ、新しい風景に出会う度に表現したいと思える対象も自然と広がって来たと感じます。

　この度の受賞を励みとして、より一層独自の表現を深め、まだ見ぬ世界へと活動の場を拡げて参りたいと存じます。

【タイトル】SUGIKOUJOU　滞在制作（部分）
【寸　法】200㎝×300㎝
【材　質】木製パネル・ミクストメディア
【制作年】2016年

令和5年度山口県芸術文化振興奨励賞

略歴・業績

2011年　短歌を作り始める

2012年　第41回全国短歌大会大会賞受賞

2013年　第一歌集『つむじ風、ここにあります』(書肆侃侃房)を上梓

2016年　第二歌集『きみを嫌いな奴はクズだよ』(書肆侃侃房)を上梓

2018年　岡野大嗣との共著『玄関の覗き穴から差してくる光のように生まれたはずだ』(ナナロク社)を上梓

2019年　谷川俊太郎・岡野大嗣との共著『今日は誰にも愛されたかった』(ナナロク社)を上梓

2020年　短歌入門書『天才による凡人のための短歌教室』(ナナロク社)を上梓

2021年　『あなたのための短歌集』(ナナロク社)を上梓

2022年　第三歌集『オールアラウンドユー』(ナナロク社)を上梓

文芸／短歌

木下　龍也

Kinoshita　Tatsuya

東京都(周南市出身)

今後の抱負

この度は山口県芸術文化振興奨励賞を賜り、誠にありがとうございます。

読者のみなさま、書店のみなさま、出版社のみなさま、祖母、両親、妹たち、と挙げればきりがないですが、深く御礼申し上げます。

今後の抱負はふたつあります。ひとつは、自分自身が納得のいく短歌を作り続けること。ハードルは日々上がりますが、短歌を広く深く届けるために、そして次の歌集のために、邁進していきたいと思います。もうひとつは、短歌の入口を増やすこと。

2022年には中学校、高校、大学で短歌教室を開催させていただきました。

また、『あなたのための短歌集』の印税は全国の本屋さんであらゆる歌集を購入し、学校等の施設に寄贈する費用に充てています。僕自身、短歌に救われた人間のひとりです。これらの活動を通して、これからの短歌を担うであろう子どもたちの身近に短歌がある、歌集があるという環境作りをしていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

【タイトル】『オールアラウンドユー』
【出　版】ナナロク社
【制作年】2022年